

(1) 協議事項

ア 第9次高齢者保健福祉計画の策定に向けたアンケート調査について

○ アンケート調査の目的

次期計画を策定するにあたり、介護における高齢者及びそのご家族の生活状況やニーズ等の実態を把握し、当該計画期間における介護保険給付サービスの見込量等の推計や、福祉施策への反映等に向けた基礎資料として活用する。

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者といった要介護状態になる前の高齢者を対象に、日常生活圏域ごとに、要介護状態になるリスクや社会参加状況等を把握し、地域の抱える課題の特定（地域診断）や総合事業の運営等に資すること等を目的とする。【郵送配布・郵送回収】

2. 在宅介護実態調査

「要介護者の在宅生活の継続」及び「介護者の就労の継続」の2つの基本的な視点に基づいて、在宅生活の継続に向けた施策等を構築するための「サービス提供体制の構築方針」の検討に活用することを目的とする。【認定調査員による聞き取り】

3. 介護支援専門員調査

介護保険制度の中核を担う介護支援専門員の考えや業務の実施状況を調査分析することで、より良い介護サービスの提供 並びに 今後の介護保険制度の適正な運営に資することを目的とする。【郵送配布・郵送回収】

第6期・第7期・第8期ニーズ調査の概要

名称		(第6期)日常生活圏域ニーズ調査	(第7期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第8期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の身体機能の状況、閉じこもり、認知症等のリスク要因や世帯状況など地域の高齢者の状況を把握した上で、地域が抱える課題に対応したサービスや事業の目標設定を行い、計画に位置づけ、<u>介護保険事業計画策定に活用すること</u> 調査で把握されたリスクのある高齢者に対する介護予防事業への誘導などの支援を行うこと <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">地域診断</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">個別介入</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<u>地域診断に活用し</u>、地域の抱える課題を特定すること 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用すること 介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に活用すること <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 地域診断 見える化システム </div>	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<u>地域診断に活用し</u>、地域の抱える課題を特定すること 介護予防・日常生活支援総合事業の<u>評価に活用すること</u> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 地域診断 見える化システム </div>
調査対象		特に限定なし	要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数		96問	必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	必須項目39問 オプション項目27問
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したものの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能向上 栄養改善 口腔機能の向上 閉じこもり予防・支援 認知症予防・支援 うつ予防・支援 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">25項目</div>	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下 <small>※うつ予防・支援項目は主観的幸福感とうつ病スクリーニングの二質問法の設問を採用</small>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ADL／老研式指標(IADL・社会参加・社会的役割) 転倒リスク／認知機能(CPS) 	<ul style="list-style-type: none"> IADL／転倒リスク <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">IADL：必須5項目 オプション0項目 転倒リスク：必須1項目 オプション0項目</div>
	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 等 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりへの参加意向 主観的幸福感 等 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">必須18項目 オプション25項目</div>	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 たすけあいの状況 地域づくりへの参加意向 主観的幸福感 等 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">必須22項目 オプション22項目</div>
	その他			・認知症にかかる相談窓口の認知度 必須2項目
標準的な実施方法		解説や案内なし	「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示
見える化システムへの登録		なし	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、 オプション項目 への回答)

必須4項目
重複あり

必須13項目
オプション7項目

第7期→第8期の調査項目の変更①

一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会での検討を勘案し、社会参加の状況を幅広く確認することを目的として、調査項目の追加等したうえで調査を実施する。

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑦それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者</u> として参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）</u> として参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない						



問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑧それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ <small>（〔介護予防のための通いの場等について各市町村が使っている名称（通いの場が何種類かある場合は列挙する）を入れる〕など）介護予防のための通いの場</small>	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者</u> として参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）</u> として参加してみたいと思いますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						

追加

オプション
→必須

選択肢
追加

選択肢
追加

第7期→第8期の調査項目の変更③

「認知症施策推進大綱」(令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定)において「認知症の相談窓口について、関係者の認知度2割増加、住民の認知度1割増加」がKPIとして設定された。その達成状況を定期的に把握するため、ニーズ調査する機会を活用して、認知症に関する相談窓口の認知度を調査することとした。

(新設)



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい

2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい

2. いいえ

I 在宅介護実態調査とは？

(1) 介護保険事業計画の作成に向けた議論の材料を提供する調査

- 在宅介護実態調査においては、「要介護者の在宅生活の継続」と「介護者の就労の継続」の2つの基本的な視点に基づき、下図のような「取組の成果を測るための指標（参照指標）」が設定されています。
- そして、在宅介護実態調査の結果は、その参照指標を改善するための「サービス提供体制の構築方針」を検討するために活用することが主要な目的の1つに位置付けられています。

<基本的な視点を踏まえた方針の検討のイメージ>

